

高小だよいい

令和6年3月号

「さあ、ラスト スパート！！」

いよいよ令和5年度最後のひと月となりました。子どもたちは1年間のまとめと振り返りをおして、自分自身や学級など集団としての成長を感じているようです。特に、6年生は卒業までのカウントダウンも始まり、6年間で身につけた力で未来に向かって大きく羽ばたこうとしています。児童の皆さん、「三寒四温」とよくいわれますがこの時期は寒暖の差が大きいので、体調管理に気をつけて「今の学年修了式（6年生は卒業式）」をめざして、全力で頑張りましょう。

保護者や地域の皆様には本年度一年間、色々な面でお世話になり、ありがとうございました。来年度も「高屋の宝である子どもたちの成長」のため、ご支援・ご協力をお願いします。

【「ひなまつりウオークに向けて」-自分たちの力で高屋を盛り上げよう-】



「ひなまつりウオーク」を盛り上げるために、全校で協力をして「デニムひな人形」を作りました。今年は6年生全員が高屋駅へ歩いて行き、ひな人形と会場の飾り付けをしました。

【第3回 高屋小学校運営協議会・高屋小学校区ひとつづくりネットワーク運営協議会】



2月14日（水）に「第3回 高屋小学校運営協議会・高屋小学校区ひとつづくりネットワーク運営協議会」が行われました。最初に「あいさつで子どもとつながる 高屋町」をめざして「学校運営協議会と高屋小学校区ひとつづくりネットワーク協議会の委員によるあいさつ運動」が3月からスタートすることが決まりました。この1年間の学校の取り組みの成果として「子どもたちの地域でのあいさつが以前より良くなっている。」という反省を受け、更に「あいさつから広がる子どもと地域の大人のつながりに発展させよう！」という委員の方々からの提案を実践することになりました。基本毎月10日・25日に「黄色いベスト&横断旗の委員の方々」と子どもたちのあいさつや会話が町内6か所から高屋の町へ広がり、町の活性化につながることを願っています。その他、高屋小学校の学校運営に対する委員の方々による評価、3学期の子どもたちのあいさつ評価や来年度の学校運営の方向性等について等の内容でした。本年度から始まった「高屋小学校コミュニティスクール」は、来年度も「子どもたちのために地域と学校の連携・協働を推進」を確認して閉会しました。

委員の皆様、一年間ありがとうございました。

<子どもたちの地域でのあいさつの評価（2月）>

86点（100点満点） （77点（10月））

※「地域で気持ち良いあいさつができる子」が増えている。